

## 東京都立中央図書館・諸橋文庫本の書誌調査

東京都立中央図書館・特別文庫室・諸橋文庫では、康熙字典・殿版を2種蔵されている。幸い、機会を得て、2009年1月、調書させていただいた。

都立中央図書館・特別文庫室・諸橋文庫所蔵の康熙字典・殿版は、記号823-MW-1という60冊本と記号823-MW-2という40冊本である。

表紙は、MW-1、MW-2どちらも灰土鼠色で、同一表装と思われる。

綴じは、どちらも通常和装の4穴綴じであり、康熙綴じにはなっていない。

また、どちらも題簽がない。

MW-2の御製序の初葉から四葉が綴じ目に近いノドの部分を除きほぼ欠けており、裏打ちで補修されている。表紙は破れのないものであるので、替表紙にて綴じ直しされたと考えられる。よって、初版発行時の表装については、いずれどこかで確認したい。

### (A) 記号823-MW-1 (諸97) 康熙字典・殿版・・・60冊本

1冊目のサイズは、立258mm、横169mm。

1冊目は、次の内容で構成されている。

- (1) 御製康熙字典序 (康熙55年閏3月19日付け)、板心題：御製序
- (2) 上諭 (康熙49年3月初9日付け)、板心題：上諭
- (3) 康熙字典・職官・・・30名記載あり、板心題：職名
- (4) 康熙字典・凡例、板心題：凡例
- (5) 康熙字典・総目、板心題：総目

この総目より、康熙字典は、以降、子・丑・寅・卯・辰・巳・午

- ・ 未・申・酉・戌・亥の12支の集に分けられ、かつそれぞれの
- ・ 集が上・中・下に分けられ、字書部分は、実質36巻に分かれる
- ・ ことを知る。

2冊目は、次の内容で構成されている。

2冊目のサイズは、立258mm、横169mm。

- (6) 検字、板心題：検字

一畫、二畫、三畫・・・で漢字が引ける。

- (7) 辨似、板心題：辨似 (ただし、第57葉のみ検似)

3冊目は、次の内容で構成されている。

3冊目のサイズは、立263mm、横167mm。

(8) 子集上、一畫、二畫、板心題：子集上

4冊目以降55冊目（亥集下）までは、記載省略。

4冊目以降のサイズは、ほぼ3冊目のサイズに同じ。

56冊目は、次の内容で構成されている。

子集至亥集補遺、板心題：補遺総目・○集補遺（○は12支）

57冊目～59冊目は、次の内容で構成されている。>

備考、板心題：備考総目・○集備考（○は12支）

60冊目は、次の内容で構成されている。

字母切韻要法、板心題：等韻

なお、巻末には、刊記は無い。

(B) 記号823-MW-2 (諸96) 康熙字典・殿版・・・40冊本

1冊目のサイズは、立259mm、横1673m。

(2冊目から最終40冊目までも、ほぼ上記サイズ。)

1冊目には、MW-1の1冊目と2冊目の内容が綴じられている。

御製序が、残念なことに、当初より4葉分ほぼ欠である。

MW-1と比較し、以下の点が異なる。

上記(A)-(3)の職官のページに、板心題が無い。

つまり、職名という言葉が無い。

また、上記(A)-(7)の辨似の第57葉の板心題は、他ページ同様、

辨似となっていて、MW-1のような検字とはなっていない。

また、両書とも、第49葉～第50葉を欠く。

ページの振り誤りか、それとも同頁の欠落か。原欠か。次回調査したい。

(A)、(B) どちらが先に印刷されたものかは、今回の調査では確定するに至らず。

今回調書にあたり、都立中央図書館、特別文庫室の方には、大変親切に対応いただき、ご協力いただいた。此処に厚く御礼を申し上げます。

追記： 下記URLで、記号823-MW-2の康熙字典・殿版（部分）が閲覧できます。

a) <http://www.library.metro.tokyo.jp/17/016/17100.html>

b) <http://www.library.metro.tokyo.jp/17/004/17a00.html>

以上

鈴琳舎優游文庫主